

新人事・賃金制度見直し反対シリーズ13 定年延長①

## この制度で定年まで意欲を持って働けますか？

### 定年延長に対する会社の主張

リーフレットの中で会社は「定年の延長」に対して、「退職まで一層意欲を持って働ける」「年金の受給年齢が引き上げられる」「健康なうちは働きたいと考える高齢者」「少子化の進展に伴う採用環境の変化」等を踏まえ、「定年年齢を65歳として、60歳以上の社員が蓄積した技術や経験を生かし65歳まで健康で生き生きと能力を発揮できることを前提とした制度」と主張しています。

本当に意欲を持って働けているのでしょうか？些細なミスでの長期の日勤教育、お客様とのトラブルでは正規に扱っているだけなのに、対応が悪いと言われること多数。休憩時間でも対策の強要、どんどん増える対策、水平展開という名でやらされる労働強化。ものを言えばマークされ監視される。本当にこれで意欲を持って働くことができるのでしょうか。こんな状況で鉄道マンとして、自分の職種にプライドをもって65才まで働けますか。

これまで65歳まで働いた乗務員は何人いたのか？  
答えられない会社

現在、「多くの社員が65歳まで働いている」と会社は言っていますが、運転職場ではそうありません。東海鉄事と名古屋地本との業務委員会において組合から「この間、乗務員で65歳まで継続して働いた人は何人いるか」と聞いたところ具体的に答えられなかった事実があります。地本の調査では鉄事管内では65歳まで運転士をした方は1人しかいませんでした。リーフレットを作成した人のまわりでは多くの社員が65歳まで働いているのかもしれませんが、現場では年齢との闘いで働いている現実があるのです。

私たちは、意欲を持って働ける職場環境、  
プライドを持って働ける制度の確率を追求していきます。